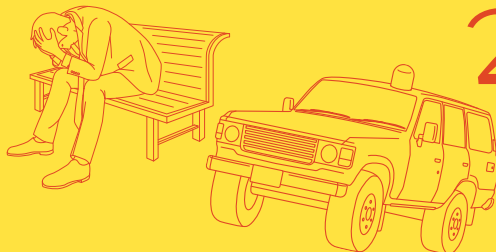




「考える」ことを楽しむ 哲学入門講座 2018



①
ローマ人に聞いてみよう！
哲学者ムソニウス先生の
人生相談 Q & A

②
自動運転車（AI）に
責任はあるか？

③
“人生の岐路”の選び方

10月14日（日）
【トーク】13:30～15:00

場所：哲学ホール
講師：川本 愛（ギリシア・ローマ思想研究者）

「ローマのソクラテス」とも呼ばれる、ネロ帝の時代の哲学者ムソニウスは、ローマ人たちの生活のさまざまな悩みに答えている。「結婚は何のためにするの？」「インテリに向いている仕事は？」「女性にも男性と同じ教育が必要か？」「どんな家を建てたらいいいのか？」「故郷を追われたのがつらいです・・・」などなど。

ローマの人々の暮らしや当時の哲学について解説しながら、ムソニウスの回答を紹介します。現代人にとって共感できたり、時にぎょっとさせられたりするムソニウス先生の回答から、人生のヒントを見つけましょう。

【哲学カフェ】15:15～16:30

場所：展望ラウンジ／定員15名（先着順）

11月18日（日）
【トーク】13:30～15:00

場所：哲学ホール
講師：小山 虎（山口大学時間学研究所講師）

もしも自動運転の車が事故を起こしたら、その責任はだれにあるのだろうか？
普通の車なら運転手に責任がありそう。でも運転手は手を放してAIに運転を任せていたのかもしれない。それなら運転をしていたAIが悪いような気がする。

いやいや、やっぱり、AIが責任を負うのはおかしい気がする。むしろ責任は車のメーカーにあるのかな。でも・・・
ドラえもんが運転していたとしたら、ドラえもんは悪くないといえるだろうか？

実現されつつある未来の技術、自動運転車を例にAIの倫理について考えましょう。

【哲学カフェ】15:15～16:30

場所：展望ラウンジ／定員15名（先着順）

12月2日（日）
【トーク】13:30～15:00

場所：哲学ホール
講師：奥田 太郎（南山大学教授）

通ったことのない学校に進学し、就いたことのない仕事に応募し、死んだことがないのに死に方について考える。進学、就職、終活など、経験したことがないのに、それでも選ばなくてはならない時がある。人生は、合理的には決定のできない岐路の連続なのかもしれない。

「私たちはどうやって最善を選ぶことができるか」。この問いに哲学はどのように答えるのだろうか？

現代哲学の「分析実存哲学」といわれる分野を踏まえて、身近な事例をもとに、みなさんとゆっくり考えたいと思います。

【哲学カフェ】15:15～16:30

場所：展望ラウンジ／定員15名（先着順）

※各講座それぞれ要申込（トークのみの参加も可能です。哲学カフェのみの申込みはできません。）、参加費無料
※哲学カフェではトークにちなんだテーマを対話しながら、考えます。

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1
TEL (076) 283-6600 FAX (076) 283-6320
URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>
E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

観覧時間 ■ 9:00～17:30（入室は17:00まで）
休 館 日 ■ 月曜日（祝日の場合は翌平日）
観 覧 料 ■ 一般300円／高齢者（65歳以上）200円／高校生以下無料
交通アクセス
【車 利用】北陸自動車道【金沢東IC】—国道159号線（約20分）
のと里山海道【白尾IC】—（約5分）
【JR 利用】金沢駅—IRいしかわ鉄道線・七尾線（約25分）—宇野気駅—
徒歩（約20分）—哲学館

